

5章1節10 家庭基礎「食生活 衣生活領域」

授業者：田尻美千子 高校1年生

本質的な問い	生涯の健康を見据えた食生活実現のために、あなたが実践することは何だろうか？		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ❶健康な食生活のために必要な基礎知識を、自分の生活場面で生かすことができる。 ❷技術定着につながる家庭実践ができる。 ❸多文化理解の視点を持つことができる。 		
論点 (深めるために)	よりよい食習慣形成につながる要素は何かがあるのか？		
実践の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ① 生産的な質問作成の意義を理解し、協働的な態度で取り組んでいた。 ② 食生活の課題解決につながるよう、家庭実践へとつなげていた。 ③ 調理実習の要素などを経て、多文化への理解が深まった。 		
問いの構造化			
	Ideas	Connections	Extensions
導入展開の問い	<ul style="list-style-type: none"> ①健康って何だろう？ ②食生活に関する基礎知識をどうやったら効率的に伝えられるか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ③食生活に関する知識理解を深めるためには、どんな質問をしたらいいか？ 	
洞察を促す問い	<ul style="list-style-type: none"> ④食生活に関する基礎知識の質問を、ICEの3つに分類すると、どれに当てはまる？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤質問をそのフェーズに分類したのはなぜ？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥あなたの食習慣はどの程度健康ですか？
本質的な問い			<ul style="list-style-type: none"> ⑦生涯の健康につながるよりよい食習慣形成のために、あなたはどんな実践に取り組むか？
生徒の変容 (ICE ルーブリック)			
	Ideas	Connections	Extensions
教科・科目に特有の知識・技能	健康のための3要素(栄養・運動・休養)を指摘できる。	自分の生活リズムやスタイルから、自分の食習慣を評価することができる。	自分の生活リズムやスタイルを分析し、必要な栄養素を踏まえた食習慣を提案できる。
教科・科目に特有の見方・考え方	理想的で継続的な生活習慣が健康をもたらすことを認識する。	現在の生活習慣を将来の健康と結びつけて評価することができる。	生涯の健康のために、その人の現状に合わせた生活習慣の改善策を提案することができる。
汎用的な能力	根拠に基づいて意見を述べることができる。	課題を分析することができる。	解決策を提案することができる。